

1 題材名 上手にお金と物

2 題材の指導計画（4時間取り扱い）

	時	学習活動	主な評価基準
ガイダンス	1	○千円の使い道を考え金銭の使い方に関心を持つ。	・金銭の価値に気付き、その使い方に関心を持っている。
問題に気付く	2	○持続可能な社会について考える。 ○食品ロスの実態を知り、自分の消費行動を振り返る。	・食品ロスの実態と自分の消費行動との関連に気付き、問題を見いだしている。
	課外	○家庭での食品ロスについて調べる。	・家庭での食品ロスについて関心を持ち、調べている。
情報を収集	3	○模擬買物を体験し、購入しようとする物の情報を集め、整理する。 ○いろいろな物の情報を知り、物を選ぶ視点は多様であることを理解する。	・購入しようとする物の情報を集め、整理することができる。 ・物を選ぶ視点は多様にあり、目的や選ぶ人の価値観に応じて変わること理解する。
課題設定	4	○持続可能な社会づくりのために、自分ができようことを考え、計画を立てる。	・持続可能な社会づくりのために、できようことを考え、自分なりの計画を立てている。
振り返り	課外	○計画を実行し、振り返りを行う。	・自分なりに工夫して計画を実行し、振り返りを行っている。

3 本時の展開（第1時）

(1) 目標 金銭の価値に気付き、その使い方に関心を持つ。

(2) 展開

学習活動	時間	主な発問 (○) と予想される児童の反応 (・)	指導上の留意点	備考
1 人は生まれてから死ぬまでずっとお金を使い続けると知る。	5	・赤ちゃんのときは使わないよ ・でも、ミルクを飲むね ・自分がお金を払わなくても、家族が払っているね	・子どもであっても「一人の消費者」であるという意識を持たせる。 ・「なぜ?」「どうして?」を大切にし、そのつぶやきをつながりながら学習を進めていきたいと伝え、児童に問いの継続を意識させる。	100円玉
お金の使い方を考えよう。				
2 お金の使い方を知る。	5	必要な物のお金 ・食費 ・家のローンや家賃 ・水道代や電気代 ・教材費や給食費 欲しい物（趣味）のお金 ・お菓子やジュース ・ゲームや漫画本 ・習い事	・普段の生活を想起させ、お金は生活の様々な場面で使われていることに気付かせる。 ・様々な使い方を意図的に4種類に分けて板書し、必要な物と欲しい物に使う金銭の違いや、寄付という使い方があることに気付かせる。【公平性】	
3 千円の使い道を考える。 (1)個人で、千円を4つの箱に分ける 必要な物 欲しい物 貯金 募金（寄付）	20	○千円あったら、どのような使い方をしますか。 ・自由に使っていいなら、全部欲しい物の箱に入れたいな ・後で欲しい物を買うために、500円は貯金しようかな ・100円くらいは寄付してもいいかな ・学校で使うノートがなくなったらそれも自分で買うから、必要な物の箱にもお金が必要 ・寄付をすると、なんだかいいことしたみたいで気分がいい	・食事、住居、電気や水道など共有のものは家族が支払うと伝え、自分で自由になるお金をどう使うかを考えさせる。 ・何かを買ったら何かを諦めなくてはならないという経済概念を理解させる。【有限性】 ・自分の考えを意識しながら、友達の考えとの共通点、相違点、長所を見付けられるように視点を与える。 ・お金の使い方は人それぞれでその人の物の見方や考え方が表れることに気付かせる。【多様性】	4つの箱 100円玉 学習シート
(2)班の人に分けた理由を伝える (3)分けた理由を基に、全体で意見を交流する			・授業者の一つの考えとして、身近なチョコレートの買い方を紹介することで、自分たちの買い方が社会とつながり、社会を動かすことができると実感させる。【相互性】 ・必要な物であっても「買わない」「もらう」「作る」という選択肢もあることを伝え、そのときの最善の方法を選択する必要性を伝える。	チョコレート 2種類 児童労働の 写真 2枚
4 お金には社会を動かす力があることを知る。	10	○どちらのチョコを買いますか。 ・どこが違うのかな? ・安い方がいいよね ・「売り上げの一部で子どもたちを応援」って書いてある ・どれも同じだと思っていた ・今まで値段しか見てなかった ・チョコを買って寄付もできるってことだね ・少しくらい高くても、こっちを買おうかな		
5 本時の学習をふり返り、再度、千円の使い道を考える。	5	・○○さんの意見を聞いて、お金を好きなことだけじゃなくて、少しは寄付して、社会のためになるようにしたいと思った ・お菓子を買うときに、今までは表示を見ていなかったけれど、今度から見るようにしたい ・子どもの私たちでも、社会を動かすことができるのにびっくりした	評価基準B 【関】 金銭の価値に気付き、その使い方に関心を持っている。 (学習シート、発言)	
			【B基準に達成していない児童への手立て】 ・本時の学習を順番に振り返らせ、学習して初めて知ったことがあると気付かせる。	

<参考文献>西村隆男.藍ひろ子.子どもにおこづかいをあげよう!,主婦の友社,2014